

レビの会 ご案内

日本語礼拝の交流の場としての
愛餐会とレビの会を行います。

時間：12月2日(主) 部礼拝後
場所：3階食堂



11月度 活動報告

- 11/4 愛餐会行う。 参加者：18名
- 11/4 愛餐会后レビの会を行う。 参加者：8名

ご意見ご感想はリーダー、編集者までよろしくお願ひ申し上げます。

レビの会 リーダー：崔 朱里

レビニュース 編集者：宮脇盛人 長原成七

メール rebi-news02519@hotmail.co.jp

レビの会 ニュース

http://www.osakachurch.or.jp/jpnworship_rebi.html

神様に愛されている喜びを、分かち合ひましょう。



みち しんり いのち
わたしは道であり、真理であり、命である。

わたしをとおらなければ、
だれも父のもとにゆくことはできない。

ヨハネによる福音書 14：6

発行 2007年 11月 11日(第2主日)

No.59

題目：「主の過越しの犠牲」

聖書箇所：出エジプト 12:21～27

在日大韓基督教
大阪教会
2007年11月4日

私たちの教会(プロテスタント教会)では、主の十字架の恵みを記念する二つの聖礼典(聖なる儀式)を行っています。ローマ・カトリック教会では、七つの聖礼典を定めています。プロテスタント教会は、聖書に基づく二つだけを聖礼典としています。その二つとは、洗礼式と聖餐式です。洗礼は一生に一度であり、聖餐は繰り返し行うものですが、どちらも、主の十字架の犠牲と恵みを覚える儀式です。

洗礼式は、罪なる自分が死んで、新しく生まれ変わることを象徴しています。ロマ6:4にあるように、わたしたちは洗礼(バプテスマ)によって十字架のキリストと共に葬られ、その死にあずかるものとなります。そしてまた、キリストが死者の中から復活させられたように、私たちが新しい命に生きるために、洗礼を受けるのであります。私たちの古い罪なる自分が、キリストと共に十字架につけられ、罪に支配されていた体が滅ぼされて、もはや罪の奴隷にならないために、洗礼を受けるのです。洗礼とは、キリストと共に死に、キリスト共に生きることです。それは、罪に対して死んで、神に対して生きることです。洗礼式を通して、私たちはキリストの十字架の恵みによって、罪から解放され、新しく生まれ変わった者として、神の御国に向かって旅立つ者となるのです。

もう一つの聖礼典である聖餐式は、主の十字架の罪の贖いと密接な関わりを持っています。聖餐式で頂くぶどう酒が、贖罪のいけにえの子羊として流される血を直接表わしています。「この杯は、わたしの血によって立てられる新しい契約である。飲む度に、わたしの記念としてこのように行いなさい」と主は言われました。聖餐式に臨む者は、そのイエスの契約の血を、イエスの体であるパンと共にいただき、主の罪の贖いの恵みを記念するのであります。イエスの血によって立てられる新しい契約とは、もはや、主が私たちの罪によって私たちが滅ぼすことはないという恵みの約束です。私たちのすべての罪は、主イエスが十字架で流された血によって清められ、赦されるのです。その尊い血潮を覚えて、私たちは主の聖餐の杯を分かち合います。

私たち、すべての人間は、罪によって囚われています。罪を犯したくないと思っても、犯してしまっている、それが人間の現実であります。言わば、罪の奴隷となってしまうと言えます。その罪の中で、苦しみ呻き、救いを呼び求めています。主は、私たちの呻き嘆く声を聞かれて、天から降って来られ、私たちの罪を贖うために十字架につかれ、その血潮をもって私たちが罪から清め、キリストと共に神にある復活の命に与らせてくださり、神の聖なる者として生きるようにしてください。それが、私たちのために、主が十字架で示してくださった神の恵みであります。私たち主の教会は、聖礼典を通して、主の十字架の恵みを覚え、その恵みに与り、味わうのです。大阪教会が、主の御旨にかなった聖礼典を守り続けることを願います。

孫 信一 牧師



他国の感謝祭のようす

オーストリア ヴァッハウ
渓谷にて



ドナウ川沿いの風光明媚な場所で世界遺産にも登録されています。その中のヴァイセンキルヘンという町の中世の教会です。



教会前は参加者で賑わいます。参加者はみんな民族衣装を着て、沢山の果物やお花、野菜のお神輿をかつぎ、町中をパレードします！



牧師さんVサインです！